

いただいた柏崎 昭氏に深謝する。

引用文献

- 草間慶一, 1973. 日本産カミキリの生態と分布一覧表. 新しい昆虫採集案内 (III): 150. 内田老鶴圃新社.
 日本鞘翅目学会 (編), 1984. 日本産カミキリ大図鑑: 546. 講談社.
 林 匡夫・森本 桂・木元新作, 1984. 原色日本甲虫図鑑 (IV): 29. 保育社.
 大林延夫・新里達也, 2007. 日本産カミキリムシ: 677. 東海大学出版会.

(山崎裕志 157-0073 東京都世田谷区砧 1-31-12)

【短報】日本初記録のテントウムシダマシ2種

筆者は、日本から初記録のテントウムシダマシ2種の標本を確認したので、報告しておく。貴重な標本を検査する機会を与えていただき、標本写真を撮影していただいた稲垣政志氏および森島直哉氏に心よりお礼申し上げる。

台湾マルガタテントウダマシ (和名新称)
Bystodes taiwanensis Sasaji, 1970 (図1)

1ex., 沖縄県島尻郡座間味村阿嘉島, 14 ~ 15. III. 2003; 1ex., 同所, 17. III. 2003, 稲垣信吾採集・筆者保存. 全てFITで採集された。

台湾で採集された4個体を基に Sasaji (1970) により新種記載された種で、その後の記録は知られていない。



図1. 台湾マルガタテントウダマシ *Bystodes taiwanensis* Sasaji.

台湾ヨツモンテントウダマシ (和名新称)
Pseudindalmus longicornis Tomaszewska, 2001 (図2-3)

1♂, 1♀, 沖縄県石垣市嵩田林道 (石垣島), 19. IV. 2011, 西野久雄採集・筆者保管; 沖縄県八重山郡竹富町相良川 (西表島), 1♂, 29. IV. 2011, 西野久雄採集・森島保管。

本種は、台湾で採集された1♀により新種記載されたが、その後記録はなく♂は今回が初めての記録である。*Pseudindalmus* 属は、♂の触角第9節が肥大することが特徴の1つで、Tomaszewska (2001)



図2-3. 台湾ヨツモンテントウダマシ *Pseudindalmus longicornis* Tomaszewska. 2, ♂; 3, ♀.

によると東南アジアから13種が記録されている。Tomaszewska (2001) は、種の検索表の中で、台湾ヨツモンテントウダマシは触角第3~8節が幅よりも長さがわず

かに長いとしている。これは♀には一致しているが、♂の第7, 8節は明らかに長さよりも幅が広く、触角第9~11節以外でも♂と♀で形状に相違があることを確認した (図4-5 参照)。

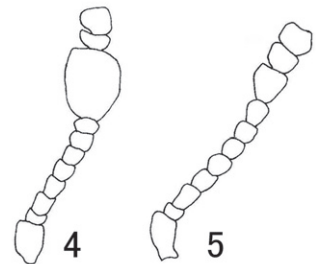


図4-5. 台湾ヨツモンテントウダマシ *Pseudindalmus longicornis* Tomaszewska の触角. 4, ♂; 5, ♀.

引用文献

- Sasaji, H., 1970. Notes on the Formosan Endomychidae, with descriptions of a new genus and several new species (Coleoptera). Etizenia, Fukui, (43): 1-18, pls. I-IV.
 Tomaszewska, K. W., 2001. On the Oriental genus *Pseudindalmus* Arrow, 1920 with descriptions of four new species (Coleoptera: Endomychidae). Annales Zoologici, Warszawa, 51(2): 133-141.

(生川展行 513-0015 鈴鹿市木田町 2399)